

令和6年度第1回川和高等学校運営協議会 記録

日時 令和6年6月12日（水）15時30分から16時50分

場所 本校 校長室

司会 川端副校長 記録 平田教頭

1 開会・校長あいさつ

- ・コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）について説明。
- ・今後の学校運営協議会のスケジュールについて説明。
- ・川和高等学校の概要について説明。

2 委員委嘱・委員紹介

- ・柏木委員、松本委員、今関委員に委嘱状を交付
- ・出席者が各自自己紹介を行う。

3 会長選出

- ・師岡校長を会長とする。（承認）

4 評価部会

(1) 令和6年度の学校目標等について

- ・学校教育計画、学校評価報告書（目標設定）、教育課程表（令和6年度入学）、令和6年度部活動加入状況と令和5・6年度の主な活動実績、生活支援グループ関係資料、卒業生の進路状況、地域との連携状況などについて説明。

(2) 不祥事防止の取組

- ・令和6年度川和高等学校不祥事ゼロプログラムについて説明。

(3) 各委員よりのご質問・ご意見

- ・働き方改革について、教育活動に制限が生じたりしないか。
→生徒との時間を作り出すために働き方改革を行っている。出来るだけ子どもたちと向き合える時間を作っていきたい。土日の引率負担はあるが、全員で、できる範囲であるが協力できる体制を作っていきたい。

- ・自転車通学について、ヘルメットの着用率などはどのような状況か。
→自転車事故は多い状況。ヘルメットの着用の努力については促している。生徒の安全のためにどうすべきかを模索中。多い人数ではないがヘルメットを着用している生徒はいる。
- ・語学、英語的な取り組みについて、ALT の採用状況はどのようになっているか。
→週3回 ALT が来校しており、2年生の授業を中心に指導している。
- ・昨年度の進路状況が非常に良かったようだが、何か先生方の声掛け等変わったところがあるか。
→進路指導の方針は変わらないが、数年前はコロナの影響で指導がしづらい時期があった。今までの取組（第一志望を目指す取組）が定着して、国公立志望者が多くなってきて進路実績につながったと思われる。
- ・職場のハラスメントについて、カスタマーハラスメント対策についても不祥事ゼロプログラムにあげたほうがよいかもかもしれない。
- ・組織的に学校が運営されている状況がよく分かった。高い次元の文武両道に生徒たちがプレッシャーを感じている状況もあると思うので、ケアをお願いしたい。
- ・地域の小さい子たちにとって、川和高校生が目標になるようだとありがたい。
- ・PTA の在り方が昨今問題視されているが、保護者と学校が協力することを今後も続けていただけるとありがたい。

5 地域連携部会

(1) 令和6年度の地域連携の取組について

- ・昨年度の地域との連携状況および今年度の予定について説明。
- ・今年度も引き続き地域と連携していきたいことを説明

(2) 各委員よりのご質問・ご意見

- ・特になし

6 閉会

- ・第2回は10月31日（木）〔公開研究授業日〕、第3回は3月21日（木）に実施予定であることを説明。

出席者名簿

委員

| 氏名 | 役職等 | 出欠 |
|--------|-----------------------------------|----|
| 師岡 健一 | 川和高等学校長 | 出席 |
| 柏木 照正 | 都筑ヶ丘幼稚園長 | 出席 |
| 横田 雅之 | 少年補導員 川和高等学校OB ((有)中川不動産代表取締役) | 欠席 |
| 松本 綱 | 見花山自治会長 | 出席 |
| 薮島 尚範 | 横浜市立荏田南中学校長 | 欠席 |
| 今関 みゆき | 川和高等学校PTA副会長 | 出席 |

事務局

| | |
|-------|-------------|
| 川端 啓明 | 副校長 |
| 平田 太一 | 教頭 |
| 渡邊 健 | 総括教諭 生徒支援 G |
| 今野 佳和 | 総括教諭 生活支援 G |
| 島津 早苗 | 総括教諭 地域総務 G |
| 武藤 貴之 | 総括教諭 学習支援 G |
| 眞中 恭子 | 総括教諭 進路指導 G |